

水端かわまちづくり WG とは

水端かわまちづくり WG は保津川左岸の河川空間の利活用方法を検討しているグループです。検討対象エリア全体は保津町に位置し、エリア周辺に隣接する農地では地元（保津町）において水端農園プランやじゃこ田ミュージアム構想を策定されており、それら地域のまちづくり構想と一体となった土地利用計画づくりを進めています。また、本エリアは河川整備が完了しており、先行して取り組みを進めるモデル地区としての役割も担っています。

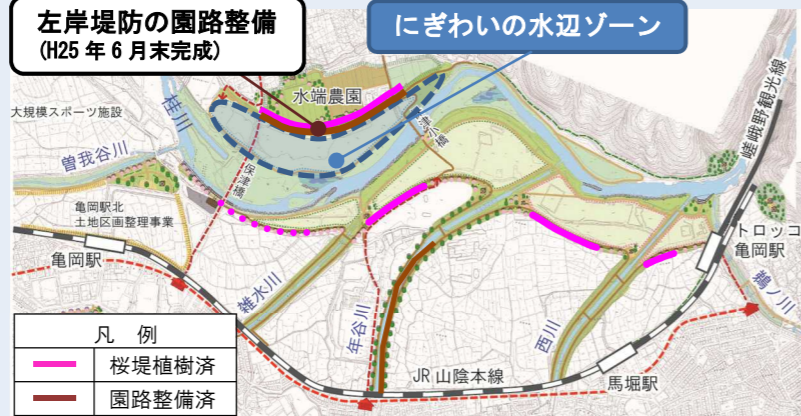
水端かわまちづくり WG の検討内容

●対象エリアの特徴

<にぎわいの水辺ゾーンについて>

隣接する水端農園と連携しながら、にぎわいを創出するゾーンとして、対象区域内の左岸側の高水敷エリアを「にぎわいの水辺ゾーン」としています。

- ゾーン面積約 7.0ha
- 東西に細長く平坦でまとまった敷地
- 隣接農地で保津町が水端農園プランを計画
- 堤防の花回廊整備



●主な検討内容

●高水敷の利活用及び維持管理方法の検討

多様な市民が利用できる多目的広場、隣接地で地元（保津町）が計画している水端農園プランと連携した BBQ・オープンカフェエリアや駐車・駐輪スペースなど高水敷の利活用及び運営・維持管理方法を検討しています。
 ・昨年度、国の補助事業である社会資本整備総合交付金都市再生整備計画事業の採択を受け、今年度から整備予定。



●左岸河川敷の利用状況

多様な動植物が住める環境整備の方法を検討しています。横断管からじゃこ田計画地までの約 300m にわたり、暫定の水路が整備されました。



●左岸堤防の園路整備(H25年6月末完成)

桜と紅葉が植えられている花回廊沿いに、地域住民・市民・来訪者が散策できる園路を整備しました。



取り組み状況



これまでの実績と今後の予定

大目標	小目標	主体	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度～	備考
保津川のシンボル創出	「保津川花回廊」の整備	保津町(オーナー制) 亀岡保津川L.C.	H23年3月 ソメイヨシノ 60本 (保津町自治会)	H24年2月 シダレ2本 (シンボル) (亀岡保津川L.C.)					左岸堤防桜植樹済
ネットワークの形成	左岸堤防天端の園路整備	京都府			平成25年6月完成				園路整備済
高水敷の利活用	まちづくりの計画に沿った利活用(全体) ※じゃこ田の再生を除く	亀岡市	水端かわまちづくり WG 5回開催	事業手法などの検討	国の補助事業採択に向けた事業計画の策定	事業実施(国の補助事業) 高水敷の段階的整備及び利活用 水端農園プランとの連携			国の補助事業により整備
	じゃこ田の再生	亀岡市	水端かわまちづくり WG 5回開催	一部暫定水路整備(亀岡保津川L.C.・保津町) (横断管～じゃこ田計画地まで 約300m)	じゃこ田の再生				
	運営・維持管理 暫定維持管理	亀岡市 保津町			草刈等				H25年度～H27年度 については保津町自治会に委託
	運営・維持管理 に向けたWG	亀岡市	水端かわまちづくり WG 5回開催	これまでのWG会議を踏まえて検討	整備後、運営・維持管理計画に基づく維持管理に移行する	整備後の運営・維持管理			
	イベント等	亀岡市 保津町 活動団体		自由使用による利用 各種イベントの開催	高水敷の利活用 水端農園と連携したイベントの開催				実績として、亀岡マルシェ、じゃこ田マルシェ、ほづがわチャリティ・ファンラン、保津川の日等を開催
推進協議会			H23年9月9日	H24年6月29日	H25年8月28日	H26年9月1日			

● 実施 ◯ 予定、計画策定 ※平成27年度以降は予定です

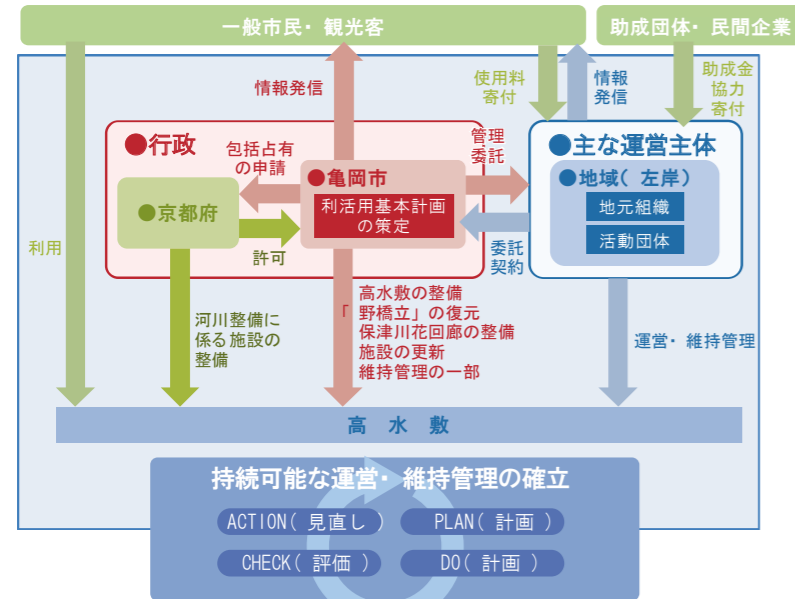
基本計画

基本方針

多様な利用層を想定した広場などの整備や水端農園と連携したイベントにより、にぎわいの創出を図るとともに、環境共生型の高水敷の整備を図ります。

運営・維持管理(案)

●左岸側の運営・維持管理の仕組み



●左岸側の運営・維持管理の体制

